

# 森林と人をつなげたい 通信 森倶楽部21

2018年5月 第194号

私たちは、里山の自然に触れ、その地域の暮らしに学ぶ活動をしています。

長野県安曇野市の長峰山が主な活動場所です。

里山はたくさんの生きもののよりどころです。

たくさんの人と、この豊かな自然を分かち合い、

未来に引き継いでいくことが願いです！

## 2018年度通常総会開催 (2018.4.15)

### 21年目の年輪

森倶楽部21理事長

今年は21年目の活動に入ります。NPO法人としては11年目。そのうち長峰山での活動は19年目となります。

昨年の活動を少し振り返ってみます。蝶の森、絆の森では地道な保全活動がなされ、



特に刈った草を馬の飼料とし活用できたことはかつての里山の姿に近づく活動となったように思います。森林整備チームは里山で問題となっている放置竹林に力を入れて取り組み、竹炭も林産物として活用。矢ノ沢住民から大変喜ばれています。通信193号では竹林整備、竹炭についての特集が組まれています。早速交流団体から大変わかりやすいと褒めてもらいました。きより館チームはキノコの生産に力を入れ、イベントや活動を盛り上げています。環境学習では、新たに地元明北小学校の自然体験指導が加わり、明科地域の小、中、高の環境学習を担う状態となっています。森林の里親促進事業では「コープながの」の組合員さんに3回のバラエティにとんだ体験をしていただくことができ、支援金もいただきました。

た。

この他に安曇野市の「さとぶろ。学校」へのスタッフ、講師としての協力。特に新たに長峰山での講座が始まり、草地や竹林という里山で最も放置されている環境について学んでもらうことができました。

昨年の活動はこのように会員みなさんの力を集めてなんとか続けられてきました。しかし、20年の活動の中で、これまでにない課題が浮かび上がっています。それは会員の高齢化とそれにもなう体調不良や親の介護、若い人にとっては仕事や家庭経営に忙しく、定例の活動に参加できる人が限られおり、人数も減っていることです。幸い新年度からは3名の方が仲間に加わってくれますが、時代の風潮として、組織とそれを維持する役割を負担に思う傾向が見られるかと思えます。気軽に参加して楽しんでいたら里山保全に役だっていた。これなら参加できる。というようなスタイルも検討して、とにかく里山保全に関わる人を増やしていくこと。ホームページ、立て看板も大きな役割を担うことと思えます。また、これまで成してきた事業も優先順位を決めて無理しないで進めること、これまであまり参加できていない会員は、「少なくともここには出る」という目標を持って取り組むことを期待したいと思います。里山保全への理解や関心を高め、里山に関わる人を増やすことを意識して事業、業務を展開すること、長峰山の特徴である草地の保全に向けて多くの人と知恵と力を出し合っていくよう、20年を重ねてきた倶楽部の実績が里山保全に向けて役立てられるように着実に取り組んでいきたいと考えます。

### 【通常総会報告】

今年度の通常総会は生憎の雨でしたが、22名の正会員と残りの会員からの委任状を合わせ100%で総会が成立しました。監事にもご出席いただき、そのほか新入会員2名の参加もありました。

議長が選任され、第1号議案から第7号議案まで提案と審議が行われ全ての議案が承認されました。

概ね資料に記載されているとおりの報告



がなされたなか、特筆すべきものとしては、会計報告の繰越金の扱いについて監事からアドバイスがありました。繰越金は使途が決まっているのならば、特別会計を設け、そこに一般会計から繰り出しという形でストックしておき、実際に使う事業を行う年度に、特別会計から一般会計へ繰り入れし、

### 【通常総会午後の研修】

長峰山山頂周辺の草原及び森林の下見会となった。蝶の森や絆の森の活動で長く草原整備を手掛けてきた当倶楽部だが、昨年から長峰山山頂周辺の草原とも関わりが出てきた。今年度の活動項目「山頂草原化の整備のため、保安林の整備・計画・申請・施業を実施する」とあることから、新規事業として、整備が可能なのかやどのような整備をしたらよいかなどこの機会にできるだけ大勢で見ておこうというわけである。

長野県林業総合センター指導部の松原さん、安曇野市耕地林務課の佐藤さん、田原さんにもご同行いただいた。松原さんは長峰山が久しぶりとのことだったが、歩きだしからハナイカダやマユミの話、蝶の森では地名の「原」や「野」に因む話をしてくれた。

当該年度の事業のひとつとして会計処理を行うのが良いのではないかというものでした。NPO法人の性格上あまり余剰金がある状態というのは好ましくないような気はするので、尤もなご指摘であったかと思いました。

もうひとつ直前に議案として上がった、定款の改定がありました。特定非営利活動促進法の一部改正により、NPO法人も毎年度、貸借対照表の公告義務が生じることになったのです。この変更に対応するため、定款の変更が必要になったというわけです。貸借対照表？あまり聞いたことのない言葉だというのが正直な感想ですが、簡単に言うと企業や団体の資産と負債の状態を表すもののことで、英語で言えばバランスシートです。つまりはNPO法人であっても、組織の運営状況が健全であるのかどうかを明確にしなさいということですね。

最後に、今年度から新たに3名の方が森倶楽部の会員に加わりました。新たなメンバーとの交流という楽しみもあることですし、これを機会に会の活動から足が遠のいていた会員の皆さんも、もう一度活動に参加してみてもはどうでしょうか？なんて、他人事のように言っている筆者も足が遠のいているひとりなのですが（笑）。

途中、蝶の森では、2002年に行った天地返しのことや、掘り返し実験区の確認などした。



山頂に着くと11カ所ある「コドラート」（試験地）について現況と継続調査していく旨の説明があり、その後山頂下の森林に移動した。ここは5月19日に予定されているコ

ープながのさんとの「森林の里親促進事業」で整備予定の場所である。10年ほど前に一度伐られた後萌芽してきたと思われる一株数本のウワミズザクラが、まるで植えたかのように並んでいる。林床の在来草原植生を復活させるためにはもう少し疎林化して太陽光を林床に届かせたい。そのためには萌芽の太いものを伐った方が効率的だが、ここは保安林。胸高直径8cm以上のものは県に申請しないと伐ることができない。今から申請しても間に合わないことから、細い

ものを数本間引きする形で「森林の里親事業」を進めることになった。

一団は森林下の「けもの道」ゾーンに移動した。ここはコナラ中心の若い林である。キノコのほだ木に使いそうな太さのものもある。ただ、それらを伐って利用するのか、細いものを伐って見通しをよくするのは今後の課題ということになった。

## 4月の活動から

### 4月3日（火）【蝶の森活動】

9:30～14:00 活動場所：堤平、きのこ園、パノラマパーク 参加会員6人

蝶の森の作業日であるが、すぐに必要な作業がたくさんあり切り替えて行った。まず、昨秋にできなかったススキの刈払いを実施。今年は刈取ったススキを飼料として搬出予定で、その育成準備であったが、完全に枯れたススキは、刈払いが大変であった。きのこ園では収穫不能のほだ木の整理を行った。パノラマパーク周辺の登山道では直径30cm くらいのカラマツが完全に登山道をふさいで倒れているため、必要部分だけを取り除いた。



蝶の森の上がり口のアカマツの落枝がサクラにかかっていたものは、引っ張って片付けた。

### 4月10日（火）【絆の森活動】

9:30～12:00 活動場所：天平自然園～堤平 参加会員6人

風もなく快晴で穏やかな日。昨年よりも随分早くサクラが開花し、光城山線の登り口から満開の桜が楽しめた。今年はソメイヨシノばかりでなくカスミザクラやオオヤマザクラなども同時の開花で長峰山は結構な人出であった。

天平自然園北側の畑地の東側沿いのニセアカシアを伐るなどの整備、絆橋東上のササ刈り、堤平小屋西側と北側のニセアカシアを刈る作業を行った。昼食をとった堤平もオオヤマザクラが咲き始めできれいな色を見せていた。長峰山山頂ではキジムシロが開花しキアゲハを2頭見かけた。

### 4月17日（火）【蝶の森活動】

9:30～14:30 活動場所：堤平、蝶の森 参加会員6人  
堤平で前回刈り払ったススキを燃やすことが乾燥と強風により不可となったため、林縁まで搬出した。草丈が長く量も多くて重労働であったが、ロープで束ねて引き出す方法を教わった。ブルーシートと違って一人で運ぶことができ、ある程度丈のある草の運搬方法として効率的と感じた。今年度は堤平でも中間（6～7月）の草刈りを入れれば作業が軽減されるのではないかと、また、刈り草を柳沢林業へ飼料として提供したら、



との意見が出された。チョウの道沿いで枯れ木が数本見受けられ、危険防止のため処理する必要がある。今回は全員でチョウの観察予定であったが、曇りがちで風が冷たくチョウも少なかったため見送りとした。

#### 4月22日(日)【きより館活動・絆の森活動】

9:00～15:00 活動場所：矢ノ沢地区内の道路、公民館、堤平、烏帽子峰、水田跡地  
参加会員 14人

午前は矢ノ沢地区春の道普請で、天平自然園付近から十三夜塔付近までの道路脇の雨水枡の土砂、落葉上げと側溝に溜まった落葉さらい、道路上に積もった落葉掃きを行った。作業は天平自然園から山の神社の間と、山の神社から十三夜塔までの間の2班に分かれて行ったが、今年は落葉や土砂等は例年と比べて少なかった。



昼食はカレーを作り、公民館周辺の八重ザクラときより館前のチューリップが満開で、お花見をしながら地区の方達と和やかな懇親の場を持つことができた。

午後は堤平と絆の森に分かれての活動。堤平と蝶の森から運んだほだ木にナメコ 34本、ヒラタケ 15本に駒打ちを行いきのこ園に伏せ、南キノコ園に伏せてあったシイタケのホダ木を地面から 30cm 位に打ち込んだ杭に横に渡した竹を番線で留めた棚に本伏せした。

絆の森は烏帽子峰の遊歩道に倒れていたアカマツや水平道下側に倒れていたカラマツ、ウルシなどの除去作業を行い、水田跡地では春植物の開花調査を行った。

### 長峰山 NEWS

きのこ園のシイタケは春と秋に発生する。この春は4月初旬に発生した。しかし雨が少なかったため乾いて大きくなり収穫できなかった。遮光ネットで覆い、落枝・落葉の掃除等行って清潔維持を図り、その間雨も2回降った結果、収穫できるようになった。



5月1日



# 2018年5月・6月活動予定

※未定の活動については例会で相談して決めます。

	日	行 事	集 合 場 所	時 間
5月	8(火)	絆の森活動	天平の森駐車場	9:30～
	9(水)	例会	松南地区公民館	19:00～
	13(日)	森林整備活動	天平の森駐車場	9:30～
	14(月)	明科高校長峰山ハイク事前学習	明科高校	14:55～
	15(火)	蝶の森活動	蝶の森駐車場	9:30～
	19(土)	森林の里親促進事業	未定	未定
	23(水)	明科高校長峰山ハイク現地見	未定	13:00～
	26(土)	里山を使った環境学習を体験しよう	会田中学校裏山ヒノキ林	9:00～
	27(日)	絆の森活動	天平の森駐車場	9:30～
	29(火)	明科高校遠足	きより館	未定
	30(水)	安曇野市「さとぶろ。学校」第1講	安曇野市役所	9:00～
6月	5(火)	蝶の森活動	蝶の森駐車場	9:30～
	10(日)	森林整備活動		9:30～
	12(火)	絆の森活動	天平の森駐車場	9:30～
	13(水)	例会	三郷交流センター ゆりのき	19:00～
	17(日)	山頂草原草刈り	天平の森駐車場	8:40～
	19(火)	蝶の森活動	蝶の森駐車場	9:30～
	24(日)	絆の森活動	天平の森駐車場	9:30～
	27(水)	安曇野市「さとぶろ。学校」第2講	安曇野市役所	9:00～
	28(木)	安曇野市「さとぶろ。学校」第3講	天平の森駐車場	9:00～



## 会員を募集しています！

見学や入会の申し込みは、  
随時受け付け中です。  
お気軽にお問い合わせください。  
一緒によい汗ながしませんか？



◇会費 正会員:3,000円 賛助会員:4,000円

- 編集者  
特定非営利活動法人  
森倶楽部21 通信チーム
- 発行人 理事長 永田 千恵子
- 発行所 〒399-0033  
長野県松本市笹賀 2497-3
- TEL&FAX 0263-58-0360
- メール [mori21@yumedia.jp](mailto:mori21@yumedia.jp)
- URL <http://mori21.com/>
- 

<https://www.facebook.com/morikurabu21>